

デジタル変革時代の電波政策懇談会
公共用周波数等ワーキンググループ（第3回）（非公開）
議事要旨

1 日時

令和3年2月1日（月） 13:00～14:40

2 場所

Web開催

3 出席者（敬称略）

（1）構成員：

高田主査、森川主査代理、飯塚構成員、大谷構成員、寺田構成員

（2）総務省：

新谷総務副大臣、竹内総合通信基盤局長、鈴木電波部長、布施田電波政策課長、柳迫電波政策課企画官、片桐基幹・衛星移動通信課長、荒木基幹通信室長、寺岡重要無線室長

4 議事要旨

（1）開会

（2）議事

① 関係省庁ヒアリング

警察庁及び海上保安庁（以下「関係省庁」という。）から、個別に現在利用中の無線通信システムについて、特に「他用途での需要が顕在化しているシステム」及び「アナログ方式を含むシステム」を中心にヒアリングを行った。

「他用途での需要が顕在化しているシステム」については

- ・ 関係省庁より、使用する周波数帯を変更する計画の他、他用途で使用する周波数と共用するために、総務省と連携して、周波数共用方策の確立に関する技術検討を行っていく旨の説明があった。

「アナログ方式を含むシステム」については、

- ・ 関係省庁より、一部のシステムは、別のシステムへの移行や、デジタル方式への移行を計画している旨の説明があった。
- ・ また、デジタル方式への移行計画がないシステムについては、総務省より、関係省庁に対して、速やかに検討を開始すべきとの要請の他、アナログ方式を継続利用する場合は電波利用料を徴収する可能性がある旨の指摘があった。
- ・ 更に、関係機関間の音声連絡用のシステム等については、関係省庁より、PS-LTE への移行も視野に検討する旨の説明があり、構成員より、PS-LTE の早期導入に向けて、引き続き総務省がイニシアチブを取り検討を進めていくことが期待される旨の発言があった。

（3）閉会

以上